

堀尾吉晴(後半期)の年譜

和暦	西暦	年齢	事項
天正15年	1587	45歳	従五位下に叙され、「帯刀先生」に任じられる 秀吉から豊臣姓を給う
天正18年	1590	48歳	息子の金助(18歳)、小田原で病死 遠江国浜松(浜松城)で10万石(後に12万石)を領す
文禄5年	1595		秀次事件
慶長3年	1598		秀吉死亡
慶長4年	1599	57歳	越前国留守居役につく(5万石を領す)
慶長5年	1600	58歳	三河国池鯉鮒(知立)で、暗殺されかけ負傷する 関ヶ原の戦い(忠氏参戦) 家康より忠氏に出雲・隠岐両国24万石を与えられ、吉晴・忠氏父子、富田城に入る
慶長9年	1604	62歳	吉晴、従四位下に叙される 忠氏(28歳)死去。吉晴は三之介(6歳・忠晴)の後見役となる
慶長12年	1607	65歳	宗葩(泰晴妻)死去 高野山(奥之院)に逆修塔を立てる
慶長13年	1608	66歳	松江越
慶長16年	1611	69歳	松江城天守完成(祈祷札) 吉晴死去。富田城内に葬られる
慶長17年	1612		将軍秀忠より忠晴に隠雲二ヶ国の支配が認められる

参考文献:松江歴史館2021『〈松江歴史館開館10周年懸念特別展〉戦国の世を馳せた武将 堀尾吉晴』
展図録「堀尾吉晴に関する年表」